

神奈川県平和行進から自治体へのメッセージ

日頃から核兵器廃絶、被爆者援護、非核平和行政推進のためご尽力されていることに敬意を表します。

核兵器のない平和な世界の実現、被爆者援護は、私たち住民と県内自治体の強い願いです。広島・長崎に原子爆弾が投下されてから78年になり、マーシャル諸島での水爆実験によるビキニ被災から69年になります。

核兵器は、人間として死ぬことも、人間らしく生きることも許さない「絶滅」だけを目的とした「絶対悪の兵器」です。使用の威嚇も許してはならないものです。その危険を根絶するには、核兵器の完全廃絶以外にありません。

神奈川県は、すべての自治体が非核平和都市宣言を行ない、ビキニ事件の被災を大きく受けた県として、核兵器廃絶・被爆者援護、核実験反対を住民とともに声をあげ行動してきました。県内自治体議会でも、核兵器廃絶、禁止条約批准推進の決議をあげています。これらは、被爆者と核兵器のない世界を求める県民を力強く励ましています。

これらの多くの声と運動は、核兵器禁止条約実現の大きな力となり、核兵器禁止条約参加が世界の流れとなっています。国連では、6割以上の国が禁止条約批准を求める決議に賛成し、核兵器禁止条約の批准が68カ国、署名が92カ国に達しています。

しかし、残念ながら日本政府は、唯一の戦争被爆国でありながらこの核兵器禁止条約に署名も批准もしていません。私たちは、日本政府に一日も早く核兵器禁止条約に署名し、批准することを強く求めものです。

今、ウクライナでは、国連憲章違反の戦争と核兵器使用の重大な危険に直面しています。さらに、岸田政権が進めている戦争準備の大軍拡に多くの県民が憂慮しています。

間もなく広島でG7サミットが開かれますが、私たちは、核兵器全面禁止の規範とルールを打ち立て核の脅威と使用を絶対許さないメッセージを多くの国々、人々に発することを望みます。

貴職が核兵器禁止条約に日本政府が参加するため、ウクライナ戦争の中止のために、住民のみなさんとともにご尽力されることを心より願うものです。

本日の平和行進にも、温かい励ましのごあいさつをいただき、心強く思います。私たちは、多くの人々、自治体のみなさんと力を合わせ「核兵器のない平和な世界」の実現に向けて、今後も歩みを進める決意です。

今後とも、貴職の核兵器廃絶へのご尽力と私どもの取り組みにお力添えをいただくことを心より祈念いたします。本日は、ありがとうございます。

2023年5月〇〇日

〇〇〇〇長 〇〇〇〇 様

2023年神奈川県平和行進懇談会

【構成団体】 神奈川県原爆被災者の会

神奈川県民ピースリレー実行委員会

国民平和行進神奈川県実行委員会